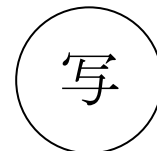


令和2年（2020年）7月28日開会

令和2年（2020年）第8回

茨木市教育委員会定例会

会 議 録



茨木市教育委員会

◆ 令和2年7月28日(火)第8回教育委員会定例会を茨木市教育センター セミナー301号室で開催した。

◆ 出席委員

教 育 長	岡 田 祐 一
教育長職務代理者	武 内 由 紀 子
委 員	片 山 正 敏
委 員	篠 永 安 秀
委 員	堀 村 佳 奈 子

◆ 本委員会に出席した者

教 育 総 務 部 長	小 田 佐 衣 子
教 育 政 策 課 長	玉 谷 圭 太
教 育 総 務 部 副 理 事	西 村 宏 子
学 務 課 長	堤 義 孝
施 設 課 長	浅 野 貴 士
社 会 教 育 振 興 課 長	松 本 栄 子
歴 史 文 化 財 課 長	木 下 典 子
中 央 図 書 館 長	吉 田 典 子
学 校 教 育 部 長	加 藤 拓 郎
学 校 教 育 推 進 課 長	青 木 次 郎
教 職 員 課 長	岩 城 大 将
教 育 セ ン タ ー 所 長	新 川 正 知
こ だ も 育 成 部 長	岡 和 人
保 育 幼 稚 園 総 務 課 長	山 寄 剛 一
人 事 課 長	東 利 之

◆ 署名委員

委 員	篠 永 安 秀
-----	---------

( 令和2年7月28日(火)、午後2時00分 )

議事日程 ( 令和2年第8回茨木市教育委員会定例会 )

( 於：茨木市教育センター セミナー301号室 )

日程	議案番号	件名	摘要
1		会議時間の決定について	
2		会議録署名委員指名について	
3		会議録の承認について	
4		諸般の報告について	
5	報告9	令和2年度教育費予算(6月補正分)について	
6	25	職員人事について	
7			
8			
9			
10			
11			

(14時00分 開会)

岡田教育長

それでは、ただいまから令和2年第8回茨木市教育委員会定例会を開会いたします。  
本日は委員会を傍聴したいとの申出がありますので、ここで入室していただきます。  
それでは傍聴者を入室させてください。

(傍聴者入室)

岡田教育長

本日の出席は5名でありまして、会議は成立しております。  
なお、本委員会には部長以下、説明員の出席を求めています。  
これより本日の会議を開きます。  
日程第1 「会議時間の決定」についてを議題といたします。  
お諮りいたします。  
本日の会議時間は午後4時までといたしたいと思いますが、異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めまして、本委員会の会議時間は午後4時までと決定いたします。  
日程第2 「会議録署名委員指名について」。  
本件は、茨木市教育委員会会議規則第17条の規定により、篠永委員をご指名申し上げますので、よろしく願いいたします。  
日程第3 「会議録の承認について」を議題といたします。  
「令和2年第6回茨木市教育委員会定例会会議録案(案)」についてお諮りいたします。  
異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認め、「令和2年第6回茨木市教育委員会定例会会議録案（案）」については、承認することといたします。

日程第4 「諸般の報告」を行います。

小田教育総務部長が報告

岡田教育長

以上の報告について、ご質問はございませんか。

片山委員

6月13日の第2土曜科学教室についてお聞きしたいと思います。未来の天気予報ということで、夏の気温が4.4度に、今より1.0度ほど高くなるということなんですが、これは、CO<sub>2</sub>濃度がかなり高くなるということかと思いますが、将来の気温を1.5度減らすためにできること、これは平均気温を1.5度下げるという意味だと思いますが、どんなことをすれば1.5度下がるという説明をされたのでしょうか。

新川教育センター所長

将来の気温を1.5度減らすためにできることということで、具体的に、これだけの量をこれだけすれば下がるというような説明というのは、なかなか子どもたちには詳しくは説明されていなかったんですが、冷蔵庫の開閉を減らすですとか、それからマイバックを持参して買い物をするなど、環境にやさしい行動をとるということを積極的にやっていくのがいいということと、その少しずつの努力が、1.5度下がることにつながるのか、2度下がることにつながるのか、そのときによりますけども、そういう動きを、一人ずつが心がけていくということが大事だということを説明されました。

以上です。

片山委員

1.5度上がればね、相当大きな問題が生じるということで、なぜ1.5度かという説明、そのあたりはされたのでしょうか。

新川教育センター所長

片山委員のおっしゃるとおりで、本当に今、40度という気温にも実際近づいているということもございますので、二酸化炭素とか、エコとか、あるいは大気汚染とか、そういった温暖化ということにつながっているということが実際のところありまして、その一人一人のエコとか環境問題へのアプローチということで、積極的に身近なところからできるようにということを発信しておられました。

子どもたちも、自分が今やっていることが、実際に環境問題とか、具体的な数字に近づいているかということが目に見えたり、計れたりするものではないんですけども、一人一人の努力が大事なんだということを、これからも続けていこうというような発言等もございました。

片山委員

ありがとうございます。

武内委員

未来の天気予報ということで、今説明いただいたのは、気温が上がるということだったと思うんですけども、それ以外に、例えば、今の豪雨のようなね、雨がすごく多くなるとか、今までの梅雨と違ってものすごい量の雨が降ってくるとか、天気予報なのでね、そういうことについてのお話はなかったんでしょうか。

新川教育センター所長

私たちもそのあたりの話も出るかなと思いながら聞いておったんですが、最終的には、天気の暑さというところと、最後に、温暖化への適応策についての巻物づくりを子どもたちがしたんですけども、そういう活動を通して、いろいろと学ぶということで終わりました。特に、豪雨とかそういうところの話はございませんでした。

武内委員

これは、大阪はどのぐらい暑くなるのかということなんですが、グローバルにもっと、全世界的にどうなのかというような話はなかったんですか。

新川教育センター所長

グローバルな視点の話は出ておりました。確かに地球温暖化というところが、やはり北極、南極、そういったところも含めて、さらに暑くなっているところが、急激な気温の上がり方をするわけではなくて、むしろなだらかだけど、ほかのところのほうが急激に上がったとか、そういうような話も説明されていました。学校の授業とかでもそういう授業は結構されているとは思んですけども、実際に専門家からいろんなお話を聞かせていただいて、また視覚的にも、映像等も見せていただいたので、子どもたちのほうは、おおという声も上がっていたり、わかりやすかったというような様子でした。

以上です。

武内委員

参加者が18人ということで、いつもの人数に比べて、この時期だから少なかったのかなという気もするんですけども、この18人の子どもたちというのは小学生ですよ。高学年とか中学年とか、どれぐらいの学年の子どもたちで、どんな反応というか、どんな学びができたんでしょうか、教えてください。

新川教育センター所長

参加者なんですけども、18名で、男子が13名、女子は5名参加しておりました。今年の第1回目は、本当は5月に実施する予定でしたが、コロナウイルス感染症の予防のため、やむなく中止させていただいたので、今回どうかなと思ったんですけども、楽しみにしてきてくれた子どもたちは、広報等、あるいは教育センターホームページ、そういったところを見て、参加してくれた形です。もう少し参加できるかなと思ったんですけど、当日、急遽参加を取りやめられたという方も実はいらっしゃいまして、3名ほどいたんですけど、そういったこともありまして、できるだけ密を防ぎながら取り組むようにしました。また、このときは、まだ実験等ができませんでしたので、活動としてはどうしても映像等で見るというような形にさせていただきました。

小学校3年生から参加できまして、3年生、中学年が大体半分ぐらいで、高学年、5、6年生が半分ぐらいというような形です。特に目立ったのは、女の子は、大体3年生、4年生が多かったかなというふうに思いました。

あと、子どもたちの学びですけれども、やはり最初は、気温とか環境問題という話になると、どうしても子どもたちはとっつきにくいかなと思っていたところだったんですけれども、講師の先生が上手に映像等を見せていただいたりすると、わーとか、おおというような驚きとかの反応もあり、先ほども申しましたが、二酸化炭素を減らす取り組みというようなところでいうと、自分たちがどんなことをやっているの、というような質問をされると、積極的に手を挙げて答えている様子などを見ますと、自分たちが一緒にやっていることが学びにつながっているんだなというところが見受けられたのがよかったかなと思っております。

以上です。

武内委員

はい、ありがとうございます。

堀村委員

おはなし会が久しぶりに開催されたということなんですけども、これは、いつもは図書館で開催されているのを、幼稚園とかに足を運んでいただいて実施されたというようなことなんですか。

吉田中央図書館長

いつもは図書館と幼稚園、保育所と両方でやっているのですが、今回は図書館でやると、不特定多数の方が来られるということと、広い会場の確保が難しいということで、要望があった保育所、幼稚園にボランティアの方を派遣するという形で実施いたしました。

要件としまして、広いホール等で実施できること、子どもたちにもマスクを着用してもらうこと、話し手と子どもたちの間を3メートル空ける、子どもたち同士を1メートル空ける等、要件をお伝えいたしまして、それでできる環境のところに派遣させていただきました。

堀村委員

感染対策もしっかりされたうえで、やっていただいているということで、ありがとうございます。よろしく申し上げます。



岡田教育長

ほか、どうでしょうか。

それでは、ほかに報告はありませんか。

小田教育総務部長が報告

岡田教育長

何かご質問ございませんか。6月市議会ではだいぶたくさん質問を受けましたので、特に教育委員会がメインになった議会であったと思います。

それでは、以上を持ちまして、諸般の報告を終わります。

日程第5 報告第9号「令和2年度教育予算（6月補正分）について」を、議題といたします。

事務局の説明を求めます。

小田教育総務部長

令和2年度教育費予算のうち、6月補正分についてご報告いたします。

6月補正予算のうち、国の「令和2年度第2次補正予算」を活用し、編成されました第4号補正予算につきましては、ひとり親世帯への臨時特別給付金の支給や、認定こども園等に対する感染予防用品の購入等に係る対応経費を計上いたしました。

教育委員会におきましても、公立幼稚園等における感染予防用品の購入や、長期休業中の授業実施に係る対応経費の確保に努めたところでございます。

補正予算の概要でございますが、お手元の資料の1ページをごらんください。

歳入合計は、補正前の額が1,253億5,344万3千円、補正額が4億7,190万円でありまして、補正後の総額が1,258億2,534万3千円となっております。

続きまして、歳出予算ですが、資料の2ページをごらんください。

歳出合計は、補正前の額が1,253億5,344万3千円、補正額が4億7,190万円でありまして、補正後の総額が1,258億2,534万3千円となっており、教育費の補正額につきましては、2,357万6千円でございます。

続きまして、それぞれの補正予算の主な内容につきまして、各担当課よりご説明申し上げます。

山寄保育幼稚園総務課長

公立幼稚園における感染予防用品の購入でございます。感染拡大防止に向けた対策を進めるため、公立幼稚園においてマスク等の衛生用品を購入するため、1施設につき50万円、合計12施設ございますので600万円の補正予算となっており、財源といたしまして教育支援体制整備事業費交付金、国からの交付金600万円を全額、特定財源として使用させていただきます。

以上です。

青木学校教育推進課

続きまして、小中学校への学習支援ということで、長期休業中の授業実施への対応ということで、今年度、夏季休業、冬季休業ともに短縮をして授業を実施することになりましたので、その長期休業の短縮に伴う授業実施日に、スクールサポーター及び業務サポーターを配置するための補正でございます。

授業の実施が、夏季休業7月21日から31日と8月の17日から24日、冬季休業が12月25日及び1月5日から7日になります。

財源といたしましては、国の補助金になります教育支援体制整備事業費補助金、及び府の補助金であります学習支援員配置事業費補助金を活用しております。

事業費といたしましては、1,757万6千円、特定財源としては1,757万6千円となっております。

以上でございます。

岡田教育長

報告については以上です。何かご質問等あれば、お願いします。

片山委員

学習支援の長期休業期間におけるスクールサポーター等の配置についてお伺いいたします。学習支援員配置事業ということで、1,700万ですか、これでどのぐらいの人数の方を配置できるのでしょうか。スクールサポーターと業務サポーターということですが、どんな内訳になっているのでしょうか。それで、配置されたサポーターには、どういうお仕事を、特に今回はしていただくのか、その内容について教えていただけますでしょうか。

青木学校教育推進課長

配置の人数でございますけれども、4月当初に配置しておりますスクールサポーター及び業務サポーターを、そのまま長期休業中も配置をするという形の予算計上になっております。

スクールサポーターにつきましては、小学校が118人、中学校が74人で、合計で192人になります。業務サポーターにつきましては、小中学校あわせて50人の配置ということで、あわせると242人の配置という形になります。

業務につきましては、ふだんのいわゆるサポーターの業務と変わりなく、授業中での子どもたちへの個別支援でありますとか、不登校児童生徒への対応でありますとか、今年度から図書館支援員もスクールサポーターに統合しておりますので、図書館の業務の支援等をスクールサポーターは行っております。

業務サポーターにつきましては、それぞれの教員のプリントの印刷でありますとか、そういうふうな教員の業務軽減というような形での活用を行っております。

以上でございます。

武内委員

今の件なんですけれども、授業日が増えたということで、これだけの予算がついたと思うんですけれども、休校中のときはどういう対応をされていたんでしょうか。

青木学校教育推進課長

休校中につきましては、子どもたちが登校していないということもありますので、在宅ワークの活用でありますとか、あとは、小学校でありましたら見守り登校のお手伝いありますとか、場合によっては学童保育の支援等にも回っていただいて、そのとくにできる業務ということで対応していただいております。

岡田教育長

ほか、どうでしょうか。

武内委員

すみません、幼稚園の感染予防用品の購入ということなんですけれども、この公立幼

稚園等においてマスク等を購入するというのは、子どもたち用なのか、それとも指導者用なのか、そのあたり、そんなにはっきり分けられないかとは思いますが、どんな感じなのでしょう。

山寄保育幼稚園総務課長

マスク等につきましては、こちらのほうは教員用となっております。マスクばかりで50万円使うのも無理がありますので、主な使用といたしまして、殺菌庫といたしまして、殺菌用の紫外線が出る装置ですね、こういったものをご購入いたしまして消毒のしにくいものの除菌に使われるようにしております。

以上です。

岡田教育長

ほか、どうでしょうか。

それでは、これを持ちまして、「令和2年度教育費予算（6月補正分）について」の報告を終わります。

日程第6 議案第25号「職員人事について」を議題といたします。

武内委員

議案第25号は人事案件ですので、非公開でお願いいたします。

岡田教育長

ただいま武内委員から非公開の動議が提出されましたが、本件を非公開とすることに異議ございませんか。

（各委員「異議なし」の発言あり）

岡田教育長

異議なしと認めまして、本件につきましては非公開といたします。

関係者以外の方の退出をお願いします。

暫時休憩いたします。

(関係者以外退室)

<非公開>

岡田教育長

ただいまより各委員の賛否及び意見を求めます。

(各委員「原案賛成」の発言あり)

岡田教育長

各委員のご意見は、原案に対して賛成であります。

本件は、原案のとおり決することに異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めます。よって、議案第25号は、原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、本日の議事日程は全部終了いたしました。

令和2年第8回茨木市教育委員会定例会を閉会いたします。

どうもご苦労さまでした。

(14時39分 閉会)

以上会議の顛末を記載し、茨木市教育委員会会議規則第17条によりここに署名する。

令和2年7月28日

茨 木 市 教 育 委 員 会

教 育 長 \_\_\_\_\_

署 名 委 員 \_\_\_\_\_

## 令和2年第8回茨木市教育委員会定例会事務報告

令和2年6月13日～令和2年7月17日

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者	担 当 課
6月11日 (木)	第2土曜科学教室「2100年 未来の天気予報」 (参加者：18人)	クリエイトセンター	関係職員	教育センター
7月11日 (土)	第2土曜科学教室「私達の生活とゴミ問題」 (参加者：15人)	クリエイトセンター	関係職員	教育センター
7月8日 (水) ～ 7月14日 (火)	おはなし会 (開催回数：3回 参加者：延べ130人)	東雲幼稚園ほか	関係職員	中央図書館